

11月12日 教育子ども委員会（青木ともこ委員、さいとう愛子委員）

請願・陳情審査

公立保育園の民間委託の凍結・見直し要望が**不採択**に

教育子ども委員会が11月12日に開かれ、請願・陳情の審査を行いました（右表）。「子供たちが健やかに育つためになごやの保育・子育てを豊かにすることを求める請願」に日本共産党名古屋市議団は紹介議員となり、子育て支援を拡充する立場から請願の採択を求めました。このうち3項目目の「休日保育事業」は実情の把握とともに各区1カ所は変わらないが、今年度は受け入れ人数を10人→15人に順次増やし実施しています。しかし、全体としては審議の末、2項目目と7項目目の2項目が不採択となりました。

自民・公明などは民間移管推進

2007年度に124園あった公立保育所が民間移管され続けた結果、すでに現在は103園まで減っています。市の方針は、それをさらに78園にまで減らす計画です。この方針に賛成する立場から今回、請願の不採択に賛成したのは自民・公明・民主・減税、各会派の委員です。反対の意思表示をした共産党は、市内保育実績の要件緩和までも受託法人の応募はふるわず、民間保育園からは「公立の運営まで引き受けるのは質を保つ限界を超えている」との悲鳴が届いており、公立保育所の民間移管方針をストップして新たな整備計画を作るべきだと主張しています。

教育子ども委員会での請願・陳情審査の結果
(2018年11月12日)

請願・陳情名 (請願・陳情者)	請願・陳情項目	結果
新規請願 子供たちが健やかに育つために名古屋の保育・子育てを豊かにすることを求める請願（北区住民）	1 保育士の処遇改善と保育士確保で、子供を安心して預けられる環境を整える	保留
	2 公立保育所の民間移管の計画を凍結し、見直しを	不採択
	3 休日保育事業の実施設の数をふやす	保留
	4 病児・病後児デイケア事業の利用料を下げ、第2子以降の減免を	
	5 病児・病後児デイケア事業が未実施の地域で実施設を開設する	
	6 一時保育事業を公立保育所のエリア支援保育所で実施を	
	7 リフレッシュ預かり保育事業は、1カ所ずつの受入日をせめて6日にふやし、利用しやすいように拡充を	不採択
新規陳情 名古屋市平針原保育園の改善を求める陳情（平針原保育園父母の会）	1 幼児用プールの設置場所の耐荷重を計測し、必要な対策を 2 園庭のトイレの改修を 3 園庭の水はけを改善する 4 1歳児クラスの布団棚に扉を設置する 5 2歳児クラスの使用済みおむつ入れを置く棚をトイレに設置する 6 1歳児クラスの靴箱を取りかえること	ききおく

11月13日 財政福祉委員会（岡田ゆきこ副委員長・柴田民雄委員）

陳情審査

名古屋市禁煙条例の制定を求める陳情は「ききおく」

11月13日の財政福祉委員会で「名古屋市禁煙条例の制定を求める陳情」の審査が行われ、「聞き置く」とされました。審査にあたって、日本共産党の柴田民雄議員が次の趣旨で発言を行いました。

※ ※ ※

日本はWHO（世界保健機関）のたばこ規制枠組条約を批准しているが、カナダ、イギリス等海外と比べても禁煙に対する義務がなく、喫煙対策がまだ国際レベルに至っていない。また健康被害についても徹底した広報等や啓発が弱いというのは否めない。陳情者の罰金額の例示は、改正法よりも低いようなので、この

財政福祉委員会での陳情審査の結果（2018年11月13日）

陳情名（陳情者）	結果
名古屋市禁煙条例の制定を求める陳情（天白区住民）	ききおく

内容での条例には同意しにくいところはあるが、多数の市民が利用する施設として公園も対象とする提案はその通りだと思う。

がん予防に力を入れている名古屋市として、法以上に、実効性のある禁煙対策を検討してゆく必要はあると思う。

